

1 はじめに

新居浜支部では、前年度末に支部内全ての小・中学校にタブレット端末が整備された。併せて学習支援ソフトウェアとして「ロイロノート」と「Google Workspace」が導入され、これらを使って何ができるのか、どのように活用していくのか実践研究に取り組んでいる。

2 実践事例

(1) 「Google Workspace」の活用講習会

前年度より取り組んできた「Google Workspace」の研修を、市内全ての学校において3回に分けて実施した。毎回90分程度の研修を行い、回ごとに1つから2つのソフトウェアに焦点を当てた研修や、各校での実践事例の紹介などを行った。オンライン会議システムを用いて行うことで、リモート授業に対する理解も深まった。

(2) 生徒会活動における学習支援ソフトウェアの活用（新居浜市立西中学校の取組）

導入された学習支援ソフトウェアを使い、生徒会役員の負担軽減や、オンラインでの集会実施など、特別活動におけるICTの活用について実践研究を行った。

○ 生徒会通信、委員会新聞の発行

これまで1台のパソコンを使って一人の役員が行っていた生徒会通信や、手書きで発行していた委員会新聞を、1人1台端末を用いて作成するようにした。「Google Workspace」のアプリを用いて編集を行うことで、全ての役員で協力して発行を行えるようになり、生徒会役員の負担軽減に成功した。また、タイピングを始めとしたコンピュータ活用のための諸技能についても向上が見られた。

生徒会通信	
発行部数	1部
発行時期	毎月1回
発行場所	生徒会役員室
発行内容	生徒会活動の報告、委員会活動の報告、学校行事の報告、生徒会からのメッセージなど
発行方法	Google Workspaceのドキュメント機能を用いて作成・編集・印刷を行う
発行効果	生徒会役員の負担軽減、生徒会活動の活性化、委員会活動の活性化、学校行事の活性化など

【生徒会通信】

○ 集会のオンライン実施

さまざまな集会を、オンライン会議システムを用いて実施した。オーディオインターフェースやミラーレス一眼カメラを用いることで、鮮明な映像と音声を配信できた。セッティングや片付けを生徒と共に行うことで、生徒のコンピュータに関する知識も深まった。



【オンライン集会】

3 成果と課題

本支部では前年度末に1人1台、小学校ではiPad、中学校ではChromebookが配備された。他支部のWindows端末に比べ機能の拡張性には乏しいが、直感的な操作の可能なユーザーインターフェースを備えているため、今後さまざまな場面で生徒の主体的な活動に活用していきたい。